

—スタッフ紹介—

役 職	スタッフ名
呼吸器センター長 兼呼吸器外科部長	大森 謙一

—概要—

2017年4月から大森が呼吸器外科を担当した。当科は呼吸器外科学会専門医制度による認定修練施設である。対象疾患は肺癌、転移性肺腫瘍、縦隔腫瘍など、胸部の腫瘍性病変の他、気胸、膿胸や胸膜炎である。

—実績—

【外来診療】

外来診療日は月、木であった。2017年4月から2018年3月末までの外来診療実績は、外来延べ患者数は629名、初来患者数は95名、紹介患者数は79名、逆紹介患者数は60名であった。

【入院診療】

入院病床の定数は3床であった。術後の帰室病棟は多くの場合8階海側病棟で、HCUか個室を使わせていただいた。ICU帰室は3例であった。2017年4月から2018年3月末までの入院診療実績は、入院患者数はのべ629名、平均在院日数は9.5日であった。気管支鏡検査は7例に施行した。入院での抗がん剤治療および放射線治療はなかった。

【手術実績】

中央手術室での呼吸器外科の割り当ての手術枠は、ラダー研修日を除く火曜日の1単位が手術枠であった。2017年4月から2018年3月末までの手術件数は57件であった。疾患別の手術件数の内訳は表1に示した。特記事項として、手術検体から結核菌培養陽性となった症例が2例、術後出血2例、気胸の診断で手術を施行し肺癌を認めたものが2例あった。手術応援として、大阪大学呼吸器外科医局からのべ32名、救命診療科からのべ13名、心臓血管外科からのべ9名、耳鼻咽喉科1名、総合内科1名、消化器外科1名、臨床研修部からのべ16名の先生方に手術応援もしくは共同手術として手術を手伝っていただいた。手術器材の更新として、使用鋼製小物の変更およびデイスポ胸腔鏡ポートからリユース胸腔鏡ポートへの変更更新を行った。

表1 疾患別の手術件数（2017年4月1日～2018年3月31日）

疾 患	件 数
肺癌	24
転移性肺腫瘍	6
縦隔腫瘍	5
炎症性肺疾患	1
膿胸	4
嚢胞性肺疾患(含 気胸)	12
胸部外傷	0
その他の呼吸器手術	5
全手術件数	57
胸腔鏡下または併用手術	55
手術死亡	0

—今年度の成果と反省点—

スタッフの交代年であった。このため呼吸器外科手術、気管支鏡検査などが定着するように努めた。

—来年度への抱負—

関係各科と協力を深め、呼吸器疾患の外科治療だけでなく診断領域においても積極的に対応していく。